

Ⅲ 研究の成果と課題

1 研究の成果

- 新学習指導要領に対応し、学校教育目標を実現していくための確かな学力、豊かな心、健やかな体を調和的にはぐくむカリキュラムの考え方を明らかにすることができた。
- 各教科等の目指す子ども像やカリキュラム創造の考え方を明らかにし、年間指導計画を中心とした各教科等のカリキュラムを創造することができた。
- カリキュラムの全体像を構想することで、教職員がカリキュラムマネジメントの意識をもち、ポイントを明確にした指導を行うことができた。
- 二学期制導入により教師と子どもが向き合う時間が増え、ゆとりある充実した教育活動を展開することができた。
- 元気にあいさつを交わしたり、共に学び合ったり、目標に向かって励まし合ったり、助け合ったりするなどの共にみがき高め合う子どもの姿がよく見られるようになった。

2 研究の課題

- 指導と評価の一体化を図りカリキュラムを実証し、評価の考え方を明らかにして、本年度作成したカリキュラムを子どもにとってよりよいものに高めて、学校教育目標を実現していく必要がある。
- カリキュラムの運用をしていく中で、カリキュラム創造の視点をより具体化した学習指導の在り方を明らかにし、具体的な指導を充実させていく必要がある。

【主な参考文献】

- 文部科学省「小学校学習指導要領」 (平成20年)
- 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」 (東洋館出版社 平成20年)
- 児島邦宏「確かな力をはぐくむ学校力」 (ぎょうせい 2007年)
- 安彦忠彦「新版カリキュラム研究入門」 (頸草書房 2000年)
- 21世紀COEプログラム東京大学大学院教育学研究科基礎学力研究開発センター編
「日本の教育と基礎学力」 (明石書店 2006年)
- 教育調査研究所編「教育展望」 (教育開発研究所 平成21年)
- 東京教育研究所編「学びの総合マネジメント」 (東京教育研究所平成21年)
- 浅沼茂編『『活用型』学習をどう進めるか』 (教育開発研究所 平成20年)
- 中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」 (平成20年)
- 文部科学省教育課程課、幼児教育課編集「初等教育資料 (各月号)」 (東洋館出版社 2009年)